

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃大町まちなか歩き促進事業
事業主体 (連絡先)	大町市プロモーション委員会 大町市大町 3177 番地
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,046,464 円 (うち支援金 : 2,436,000 円)

事業内容

今年度開催した北アルプス国際芸術祭を大きな観光コンテンツと捉え、立山黒部アルペンルートも含め観光主要コンテンツを市内周遊と結びつけ、国内外の観光客の満足度向上とより魅力ある周遊ルートを提供する仕組みづくりとして、手軽にスマートフォンで利用できる、旅の“よりみち”アプリ「YORIP」を導入、情報発信を行った。



よりみちアプリ【YORIP】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①英語と繁体字の外国語展開をすることに加え、日本在住の外国人ライターが大町市を取材し、日本人と違った感性を持った外国人ならではの視点で魅力的なスポットを訪日観光客向けに情報発信することができた。
- ②スマートフォンで無料ダウンロード可能なアプリであり、回遊促進、周遊ルートの設定・情報発信を主とした“よりみち”アプリ「YORIP」を導入。今年蓄積したスポット、コンテンツ、データを活かして、市内観光・まち歩き案内のアプリとしても継続している。今後も新たなコンテンツの発掘と周遊ルートの設定が期待できる。
- ③今年開催の国際芸術祭に絡めた周遊ルートを設定することで、市街地周遊・滞留の増加の一助となった。また、周遊ルート調査の中で体験のでき、かつ国際芸術祭のアート作品以外の継続的な観光コンテンツの発掘にもつながった。(刺し子体験など)

【目標・ねらい】

- ①訪日観光客向けの外国語展開
- ②継続・発展性のある、手軽に利用可能な観光促進ツールの導入
- ③市街地を含めた周遊ルートの設定と継続的な観光コンテンツの発掘

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・近辺のよりみちスポットを現在地とともにリアルタイムで、かつ手持ちのスマートフォンで手軽に検索できるアプリを導入できたことで、今後も来訪する観光客の案内ツールとして大きな柱となる。
- ・外国語展開することに加え、外国人ライター目線での観光スポットの情報発信ができたことは期待以上の成果だと感じている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度のYORIPの結果を観光マーケティング分析し、国際芸術祭のアート作品以外でインバウンド観光客には「体験型スポットが人気」という傾向から、今後は外国人モニターツアーを実施、そこから得られた結果から体験型プログラムの開発など、増加傾向にあるインバウンド観光客をターゲットとした、様々な外国人目線でみた大町の魅力をまち歩きコースに加え、YORIPの発展・強化を図っていきたい。

また、観光情報をネイティブチェックした上で多言語発信していくことで、インバウンド観光客がストレスなく大町の魅力を知り、大町来訪へのモチベーションにつながるようにしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある